

急ぎ過ぎだよ 人類は。
ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろいろ差之があるから面白い
いろいろ人がいるから楽しい

No. 628

2022年 8月

晩
柑

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

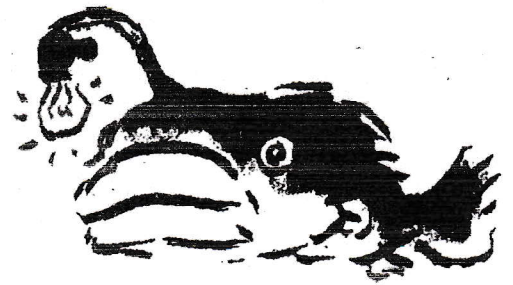
もくじ

- あの山の向こうに 2
- 菊月重陽の節供 5
- 戦争を回避することはできるか 6
- 「沖縄の歩み」(後編) 8
- 5便りから 12
- 山仕事(7月大平) 20
- 三浦海水浴 24
- 戦争のにおいがする 25
- ケ・い・じ・ぼん 26

戦争の においがする。

地球のあちこちで
無法者が暴れている。
人類の進歩って
こんなことなのか。

(会津街道歩き
松枝岐歌舞伎
またものせしんす)



この見本誌を

「読んでみようか」という方は、

年会費 4,000円を

郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 申し込み下さい。

月 日 現在の
会員数 名

題 字 救 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)

カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※ この号の切手は、日本国際切手展'21

山仕事(7月、大平)

7月と8月は「青春18切符」を使ての行き帰りとなる。

今回、山崎さんは腰痛で5休み。二日前のテニスのときは、「腰が痛い」と言いながら最後までやれたのに、その後悪化したのだろう。暑い中、大変だよな。

7月21日(木)。宇都宮線内で何かあって、熱海行きの電車が遅れた。いつもの高田行きは待ってはいないだろう。そう思っていたら待ってくれて、8分遅れで出発。よかった。

静岡駅で原田さんと二人、いつものようにホームの柱に荷物をもたせかけ併当り買いに。五分後戻ってみると、荷物のそばに警官が立っていた。無人で荷物を放置すると不審物と思われかねないし、移動させることもあると言われた。いつもは、弁当持参の山崎さんが留守番をしてくれたので安心していただけ。

掛川駅で新幹線からの伊藤幸江さんと合流。天浜線敷地駅で鈴木正士、久米、若林さんに迎えられる。

買物の後、家に近い「東垂れ」の茶園と草刈りヒツル草とり。



茶樹とおおヒツル草



きれいになった。カハラは正士さん。

(夕食) 『かがり火』仲間の、北海道・オホーツク寒気団の船木航二さんから、柳原章雄さんを通じて送られた沢山のホウキ貝を刺し身で、それにナスとピーマンと



ミョウガの甘辛炒め、トマトとモツァレチーズのサラダ、シラスと大根おろし、インゲンのゴマ和え、シソの味噌巻き、金山寺みそに山仕事始まって以来のウナギ。「山ちゃんも休みで残念」と、誰かがつぶやく。しめは、いつもの正士さんの手打ちそばを久米さんのだしとあわせていただく。今夜のそば粉は「小女山」と

のこと。たべ物の話を喜んでくれた泉ゆきをさんが亡くなって残念だ。

この日の夕食には袴田克臣(かつみ)さんとシイタケ農家の青山忠義さんが参加。

この夜は、皆ぞ打ち合わせ。このところ多忙で疲れ気味の正士さん。午後の作業は早上がりし、厨房の様子を見ながら早目におそば



を打ってもらおうというもの。正士さんの負担も軽減されるし、そばがどきる前に寝てしまうことが多い英ちゃんも、たべられる。ぼくもしばしば眠るが、そばが来ると必ず起きる。それに夕米さんの帰宅がシンデレラ(日付が変わる)になることもなくなる。体のためにもよいということぞ満場一致。

ついでにぼくは、毎月4月の最終土曜日となっている「お茶摘みパーティ」を、1週間早めてほと提案。温暖化のせいでお茶の芽生えし、ワズビやタノコも早く出ているからだ。おまけに、JRの「シブガ駅引き」の適用除外(4月26日～5月6日)にもかからなくなる。これはぼくらだけでなく、パーティに参加する人にも役立つ。これは、正士さんに検校してもらう事に。

7月22日(金)。朝6時頃に豪雨。まじなくやみ、青空に。朝、青山さんから原木シイタケをどっさりいただく。

朝お、皆で隣り町の天竜二股へ。「マルカワの蔵」で三宅伊都子さんの絵を展示しているのを見に行こうという訳だ。



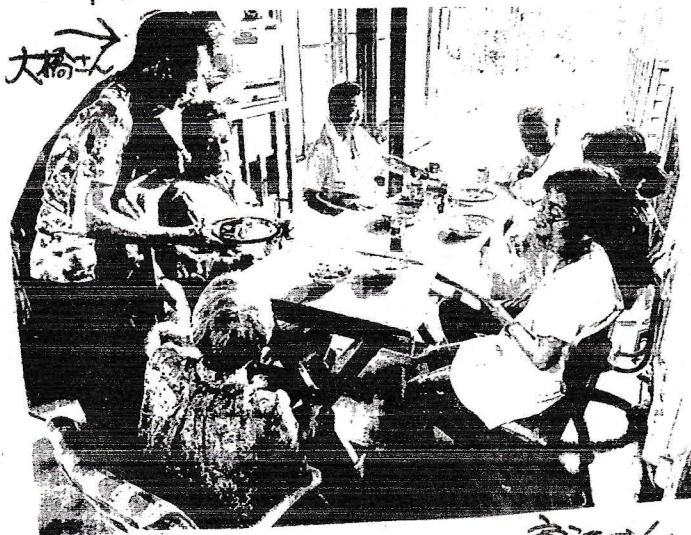
「マルカワ」は以前酒屋、その前は呉服屋だった建物を、「元氣里山」の本島慎一郎・真弓夫妻が管理し、多くのアーティスト(絵画、手芸、工芸)に展示用に開放。地元の物産の販売もしている。これまでに約1,000人のアーティストが利用とのこと。

真弓さんに案内していただく。建物もユニークだ。町家だから柱なども太くないが、増築を重ねたらしく家の中に段差があたり、階段の形が変わっていたりと興味深い。慎一郎さんは山仕事だけでなく町おこしなどで地元から頼りにされているようだ。

戻って、昨日の続き。

昼は、天竜二股から「元氣里山」の中心メンバー大橋達司さんが同行。冷やし中華を作ってくれた。大橋さんは木工が本職だが、そば打ちも名人級。おまけにうどんと中華麺も手打ちする器用人。昼食は、冷やし中華のほか、正士さんの妹さんが

作った、10kgもありそうな巨大西瓜も、たろ腹いただきました。



お母さん

康江さん



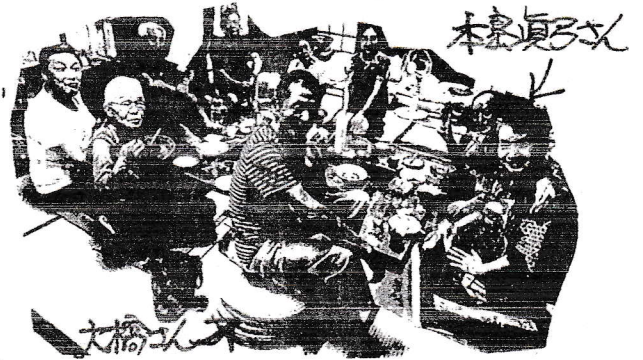
西瓜

午後、久米さんに参加し、東垂れおと常森へと移り、茶園の草刈りとツルとりを完了。
夜、本島夫妻、大橋さんが来訪。青山さんは作業の疲れで見えず。

(夕食) ジャガイモとホタテのバター炒め、ナスの皮のきんぴら、蒸しナス、豆腐とひき肉のみそだれ、ズッキーニの肉巻き、ウナ玉巻き、竹輪と金山寺みそ。(小粒の) ジャガイモ炒め。そして今夜の正士さんのおそばは「常陸秋そば」。量も味も割増のつもりとあって皆さん満足。

地域活動に熱心な本島さんから、地域のこと、若者のことなど色々。23時、お開き。

……という訳で「出稼ぎの時代」のDVDをみる機会がなく、西沢江美子さんごめん下さい。



7月23日(土)、快晴。作業前の10分間「出稼ぎの時代」を観る。DVDはことろと若林さんに託し、順次回覧してもらう。

久米さんに参加し、常森を片付けたあと、家田の田んぼに移り、畦畔の草刈り。

(昼) ちりめんこい王子焼、キゅうり、シタケ、焼豚をたべた後、正士さんたちを出る時にバフニグが発生。久米さんの車に藤江、原田さんが、正士さんの車に若林さんとぼくがのり、発車しようとした時に「車のキーがない」と正士さん。動き出した久米さんの車を大声で止め、荷物を移しなおし、出発しよう。久米さんに夕やかなり遅いのできいた。

あとから追いついた正士さん、道具を収めるときに置き忘れたと、やれやれ。

(へび肉田さんの、そして次のページに正士さんの「お便り」が)

◇ (正士さん方に届いたお饅頭に添えられたお便り)

おたいすですね。どうぞ健康が守られますように。おみさま六日働いたら一日休むように言われました。休めたらいいですね。

今年はレモンの花が二度咲きました。10個ほど実をつけていますが、後のはいくつはるか楽しみです。みなさん どうぞお元気で。

肉田美智子さん (いつもありがとうございます。この暑さ肉田)
(埼玉・川越市) (さゆ作業の時は気をつけてください)

7/21~7/23にかけて猫の手の活動ありがとうございました。今回も相変わらず余裕がなく、ツルと草まるけの茶園の管理に困っていたところを助けていただきました。お陰でお茶の葉に日が当たるようになり茶園の見場が良くなって本当に助かりました。

7/21 敷地駅集合、今回は山崎彰彦さんが腰痛のため出席できず寂しかったです。いつもの御馴染の皆様をお迎えし、元気村とベイシアで活動期間内の食材の買物、自宅に着き、農作業の準備、早速、東ダレの茶園のツル取りと草刈りをやっていただきました。

7/22 前日の天気予報では午前中天气が崩れるとの予報で、ちょうど三宅伊都子さんの絵葉書展が浜松市天竜区二俣町のマルカワの蔵で開催されているとのことでしたので、みんなで見学に行きました。マルカワの蔵では三宅さんの素朴な絵葉書を拝見し、本島真弓さんからマルカワの蔵のご丁寧な案内を頂き、その上木製のストローのお土産までいただき満足して帰ってきました。

昼食後は、昨日に引き続き、東ダレの茶園の草刈とツル取りをやっていただきました。15:30 頃終了、場所を変えて今度は常森の茶園の草刈とツル取りをやっていただきました。ここもツルと草がいっぱいで見ただけで手ごわく感じられました。

7/23 昨日に引き続き常森の茶園のツル取りと草刈りをやっていただきました。常森の茶園は東ダレに比べ面積が広くツルや草も多く片付くかどうか心配でしたが、猫の手の皆さんが黙々と仕事をこなしていただき 10:30 頃までに終了しました。そのあと時間があれば片付けてほしいとお願いしていた家田天中田の畦畔の草刈に回っていただき片付けてくださいました。畦畔の草刈は、ちょうど出穂期を迎えカメムシの食害防止の大切な時期の草刈でしたので助かりました。

そのあと厚正さんには皆さんがシャワーを浴びているわずかな時間に我が家のすぐ前の鈴木丑雄さんの竹藪の竹も切って下さいました。県道からの眺めがとてもよくなり嬉しいです。ありがとうございました。

そして昼食をとり帰宅されました。昼食後、皆様を敷地駅までお送りするのですが、お送りする直前、車のキーがないのに気づき、私の車が動かず、久米さんの車で送っていただきやっと間に合うというハプニングがありました。たまたま昼食前に何気なく置いた場所を忘れてしまい探し回るといってお粗末な出来事でした。どこかへ落としてしまったという事もなく動いた場所を振り返りながらたどっていただけました。ご迷惑をおかけしました。

今回も沢山の皆様からから差入をいただきました。隣家の丑雄さんの息子さんの義郎さんより草刈のお礼という事で糺祭を1升、メダカの榊原幸雄さんが来られ北海道のオホーツク寒気団の船木耕二さんから皆さんへという事で見事なホタテを沢山顶きました。本島慎一郎・真弓さんご夫妻より惣菜とお菓子を、伊藤康江さんから納豆工房の豆むすめを、青山忠義さんから生シイタケを、袴田克臣さんからドイツの音楽ビール 500 ml×12本、内田美智子さんよりいつものお饅頭を、久米さんからはいつものカエシ、ダシ、野菜類を、私の妹のところから大きなスイカと野菜(なす、キュウリ)を、それぞれ(順不同)いただきました。それから今回は元気里山の大橋達司さんが7/22 お昼に手打ちで冷やし中華を作ってくださいました。美味しくいただきました。皆さんのお気遣いに感謝です。ありがとうございました。

鈴木厚正様

令和4年8月1日

鈴木正士